

CLASTOR-FSHL

File Server Solution for Digital Image Processing

■ デジタルコンテンツ用データ共有ファイルサーバーの課題

- ✓ Mac - Mac / Mac -Windows マシン間での拡張属性データの互換性
- ✓ アプリケーションからファイルサーバー内データの直接更新
- ✓ ファイルサーバー保存データのセキュリティー
- ✓ ファイルサーバー内のコンテンツ検索
- ✓ 客先からのデータ入稿とデータチェック
- ✓ データのバックアップと過去データへのアクセス
- ✓ 校了データの保存とアクセス
- ✓ 多数のネットワーククライアントのサポートと 24/7のサービス

CLASTOR-FSHL ファイルサーバーは課題を解決します。

CLASTOR-FSHL は印刷、広告、出版、映像、デザイン等、意匠を重要視するワークグループでご利用いただくデジタルデータ共有ファイルサーバーのソリューションです。Mac OSX で作成されたファイルの拡張属性データを理解し、ワークグループ内のメンバー間のデータ共有と、ファイルのダイレクト編集により、途切れのない効率的なワークフローを可能にします。

データのバックアップは TimeMachine に似た過去日付のストレージのイメージがそのまま保存され、過去日付のデータをバックアップ時のイメージで読み出すことができます。また、校了データも管理基準に基づきソートされた状態で保存され、簡単に読み出すことができます。更に、遠隔地のワークグループとのデータ共有、校了データのクラウドストレージへのアーカイブ保存など、課題に対するソリューションがパッケージされています。CLASTOR-FSHL はシンプルな単一サーバー構成から、仮想化サーバーによる複合的なサーバー、更には、高い稼働率を保証する HA 構成まで、ユーザーのニーズと予算に合ったシステム構成をお選び頂くことができます。

HELIOS UB64 ファイルサーバー搭載

課題：Mac-Mac-Win クライアント間のデータ共有

課題：アプリからサーバー内データの直接編集

課題：サーバー内データの検索

課題：共有ポイント毎のユーザー / グループのアクセス管理

CLASTOR-FSHL ファイルサーバーは Linux ホストに Helios UB64 を搭載し、Mac OSX で作成されたファイルの拡張属性データに起因するデータ互換の問題からユーザーを解放します。

Mac-Mac/Mac-Windows クライアントで作成されたデータには拡張属性情報データが付いています。この拡張属性データは Mac でも Windows でも "._" (ドットアンダーバー) 付きのファイルで保存されますが、このデータはファイルシステムに依存しているため、同一ファイルシステムを使用しないサーバー、クライアント OS からは理解できないデータに見えるか、または、破棄されます。

HELIOS UB64 は各クライアントで作成されたデータをその拡張属性に含まれるメタデータを失うことなく、他のクライアントと共有することを可能にします。

HELIOS UB64 の高性能マルチスレッド AFP ファイルサービス機能により、Adobe CC 等のアプリケーションからサーバー内のファイルを直接編集することが可能で、ワークグループの高い生産性と、効率性を実現します。

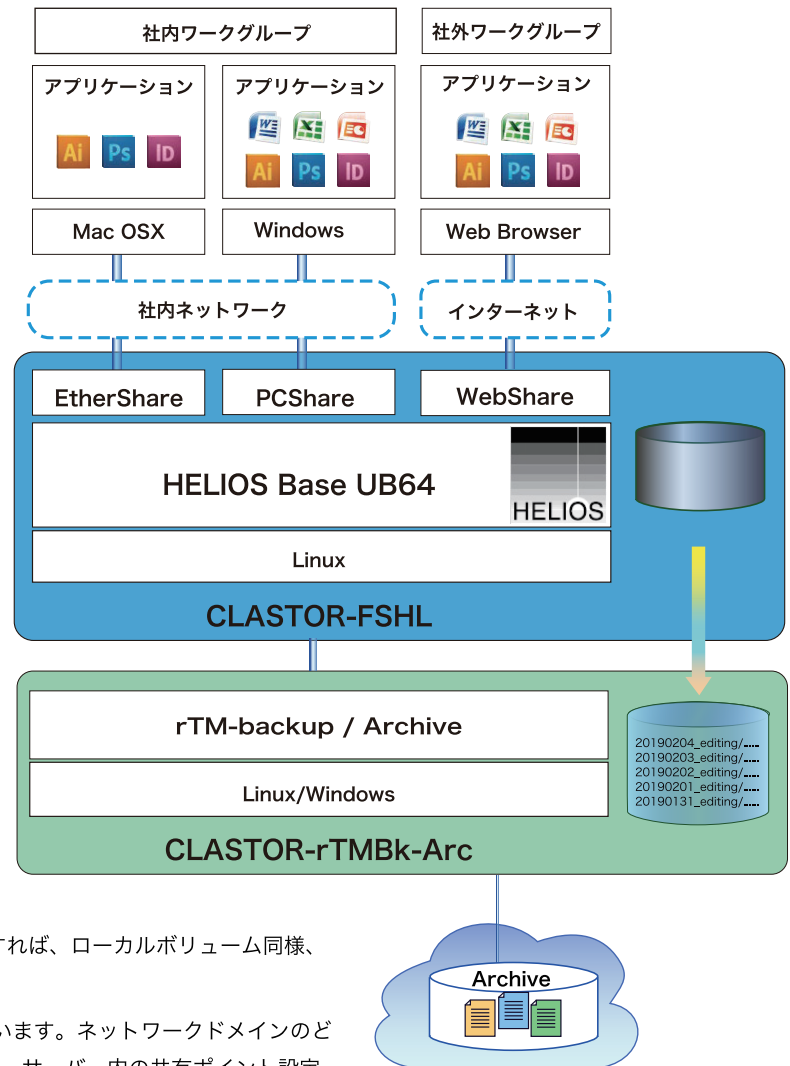
HELIOS UB64 は Spotlight Index エンジンを実装し、ファイルサーバー内のデータを Mac 同様にインデックス化しています。その結果、ファイルサーバーの共有ポイントをマウントしている Mac からは Spotlight 検索を実行すれば、ローカルボリューム同様、ファイルサーバー内のデータを即座に検索することが可能です。

HELIOS UB64 にはサーバー管理用ユーザーインターフェースが用意されています。ネットワークドメインのどこからでも簡単に UB64 ファイルサーバーの管理画面を開くことができます。サーバー内の共有ポイント設定、共有ポイントへのアクセス可能メンバー、グループ設定、アクセス権設定など、サーバーセキュリティ管理を行うことが可能です。また、AD/DC があるドメイン環境でも AD にバインドし、ログイン管理を行うことができます。

WebShare によるリモートユーザーへのデータ公開

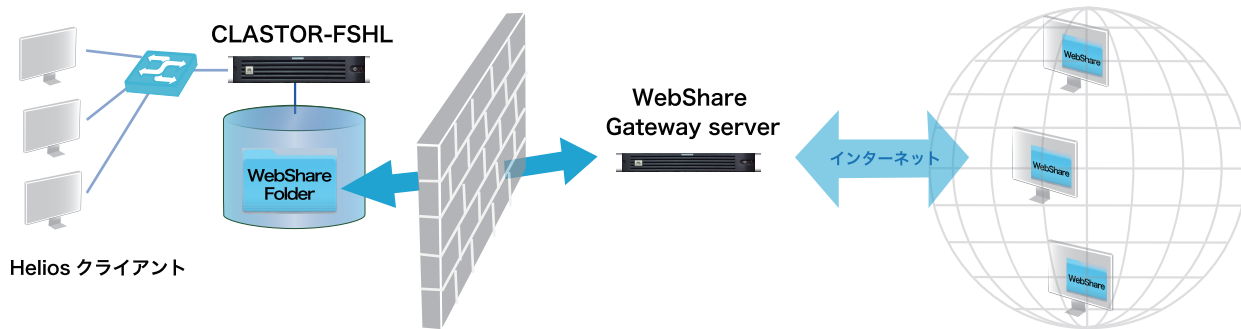
HELIOS UB64 の基本機能の一つにインターネット経由で外部クライアントとのデータ交換を可能にする WebShare があります。

認証ユーザーは、FTP サーバーや DropBox 等のクラウドサービスとは異なり、サーバー内の所定の共有ポイントへのフォルダー / ファイルのアップロード、ダウンロードの他、EPS、TIFF、PDF、DOC、PPT ファイル等のデータをブラウザーを介してプレビューすることができます。HELIOS UB64 の業務メインファイルサーバーとは別途に、ファイアウォールの外側に WebShare ゲートウェイサーバーを設置することで、ファイルサーバーのセキュリティを確保し、外部クライアントとのデータ交換を行うことが可能になります。

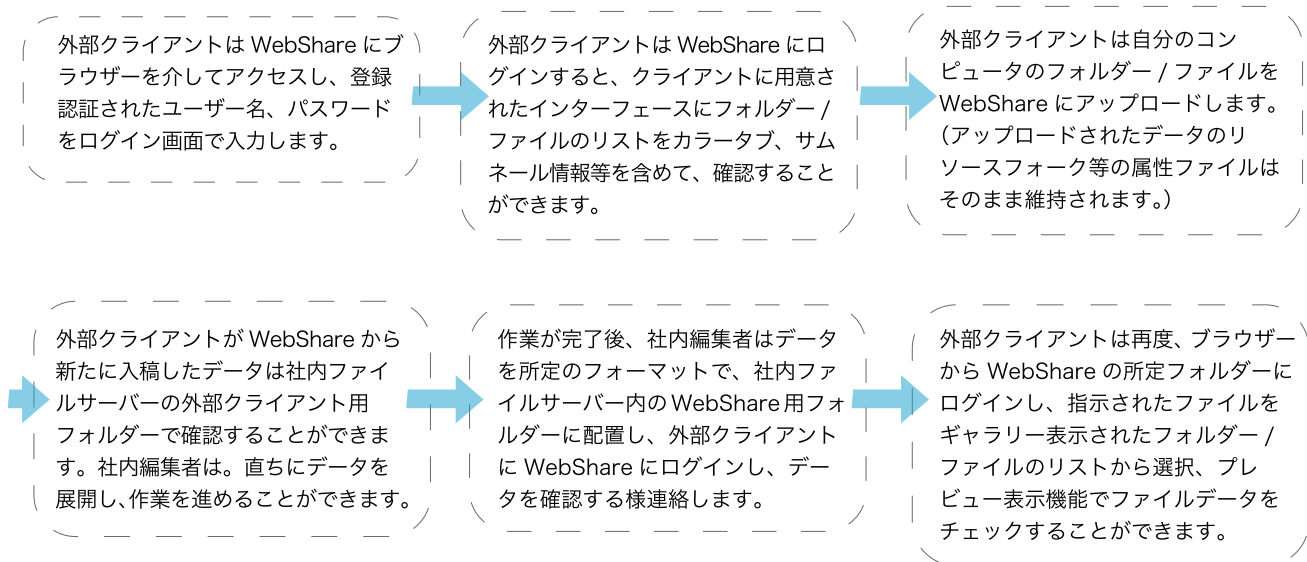


Web ブラウザー経由の客先データ入稿、データチェック (課題)

WebShare を利用することで、Mac で作成された属性情報をそのままに、外部クライアントとデータの交換を行うことができますので、業務を大幅に効率化することが可能になります。



WebShare を介した外部クライアントとのコラボレーション



Note : WebShare インターフェースでプレビュー可能なファイルタイプ: EPSF、TIFF、DCS-1、DCS-2、Scitex-CT、JPEG、JPEG2000、JBIG2、PICT、Photoshop、BMP、PDF、PNG、XPV、DOC、PPT、XLS、および、一般的な RAW カメラ画像。また、QuarkExpress や InDesign ドキュメントもアプリケーションにオプションのプラグインを付加することで、外部クライアントにプレビューを提供することが可能になります。

TimeMachine に似たバックアップ

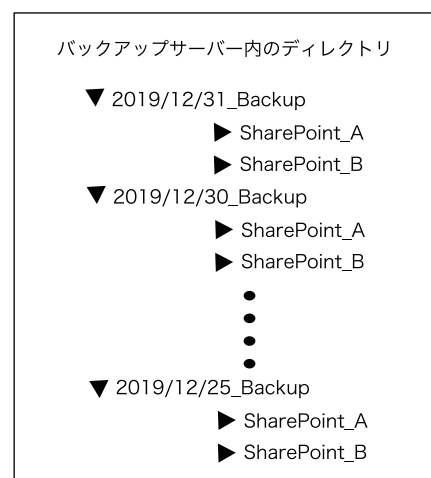
課題 : データのバックアップと過去データへのアクセス

毎日のバックアップとバックアップデータに対するアクセス

毎日ファイルサーバー内データをバックアップし、そのデータをバックアップサーバーの日付フォルダーに保存します。バックアップデータは日付フォルダーの下に保存されますので、ユーザーは過去日付のフォルダーを開くとその時点のバックアップされたデータを開くことができます。

バックアップデータ領域は、ファイルサーバーデータ領域の 1.5 倍程度のスペースで過去 30 日以上のフルバックアップイメージを保存することができます。また、例えば、過去日 30 日を過ぎた日付データは一週間単位のロールアップ、更に、3 ヶ月過ぎた場合は、1 ヶ月単位のロールアップとバックアップ過去データの頻度を上げて保存することが可能です。

バックアップサーバーには最小ライセンスの Helios UB64 が搭載されていますので、バックアップデータが必要なユーザーはバックアップ共有ポイントから過去日付フォルダーを開き、データを読み出すことが可能です。



校了データの保存とアクセス

課題：校了データのアーカイブとアクセス

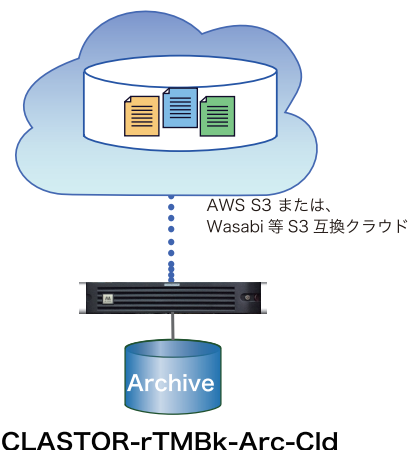
校了データはユーザーの管理基準に基づき、校了データボリュームに移動し、収納されます。アーカイブ時には年月度、客先、プロジェクト等、管理基準をキーとしてソートされた状態でアーカイブすることができます。アーカイブデータへのアクセスもバックアップ同様に簡単に行うことが可能です。

更に、クラウドストレージを校了データアーカイブ領域に

校了データのようにアクセス頻度が低く、一定の期間保存が必要なデータは、高い安全性と低価格で無限大の容量を持つクラウドストレージが最適なデータの保存場所と言えます。

CLASTOR-rTMBk-Arc-Cld バックアップ / アーカイブサーバーは Amazon S3 または、Wasabi 等、S3 互換クラウドオブジェクトストレージをローカルストレージのようにマウントし、HELIOS UB64 サーバーを介してストレージ内のデータをネットワーククライアントに公開することができます。

ローカルのクラウドストレージにデータを保存すると、自動的に指定のクラウドのバケットにデータが収納されます。クラウドへのデータの移動は HTTPS(SSH) で暗号化されており、安全で、無限大の容量を持つクラウドストレージ内に安心して保存することができます。



数百のクライアントをサポート

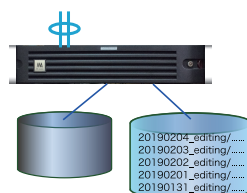
CLUSTOR-FSHL は HELIOS UB64 を搭載し、Intel 社 Xeon プロセッサ と大容量メモリーを搭載、ネットワークもローカルネットワークのバンド幅域に合わせ、10Gb イーサネット、または、1 Gb イーサネットポートが複数搭載され、全てアクティブに稼働する高性能サーバーシステムで構成されています。

更に、それぞれのサーバーには 12Gb SAS インターフェースを持つ RAID-6 Array をローカルストレージとしていますので、高い信頼性と性能が確保されています。また、HELIOS UB64 は各クライアントからのネットワーク経由のデータアクセスに対し、CPU のスレッドを均等に割り当て、全ての処理資源をバランス良く分配します。数百のクライアントがサーバーにアクセスするユーザー環境においても、ユーザーの保存データへのダイレクトアクセスに対し、最小限のレイテンシーでデータサービスを行い、高い生産性を維持することが可能です。

CLASTOR シングルサーバー構成：高信頼、高性能

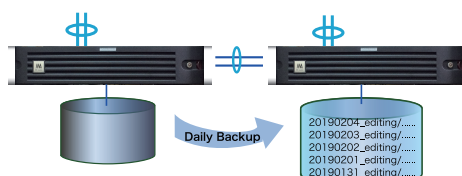
Intel Xeon サーバー CPU と 64GB、または、それ以上のメモリーを搭載。複数のネットワークポートを Active-Active な仮想化ネットワークポートに構成。

12Gb SAS インターフェースの HDD を RAID-6 冗長化アレイ構成で、高信頼、高性能のサーバーストレージを構成します。



CLASTOR メイン・バックアップサーバー構成

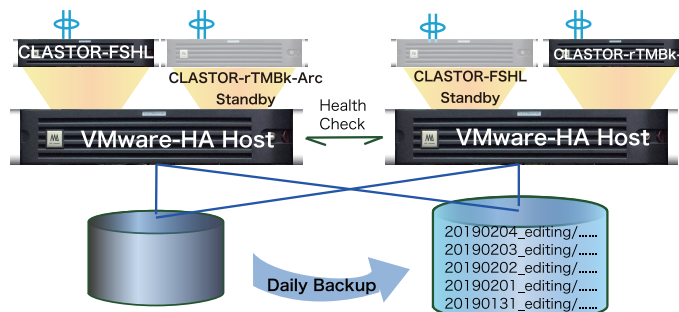
ファイルサーバーとバックアップサーバーをそれぞれのサーバーホストに搭載することで、万一の場合でも、バックアップサーバーが代替ファイルサーバーとして稼働することが可能です。直前のバックアップデータはじめ、過去バックアップデータを共有することが可能になります。



CLASTOR 仮想化サーバー HA 構成：24/7 の無停止サービス

一台の仮想化サーバーにファイルサーバーを、もう一台の仮想化サーバーにはバックアップサーバーを配置し、更に、それぞれのスタンバイサーバーを相手の仮想化ホストに配置することで、通常はファイルサーバー、バックアップサーバーが負荷バランスされた状態で仮想化ホストで稼働します。

万が一、一方の仮想化ホストで障害が発生した場合、その上のサーバーは直ちに他の仮想化ホスト上のスタンバイサーバーに移動して、サービスを継続することができます。



HELIOS UB64、および、WebShare は Helios 社の登録商標です。